

共 催

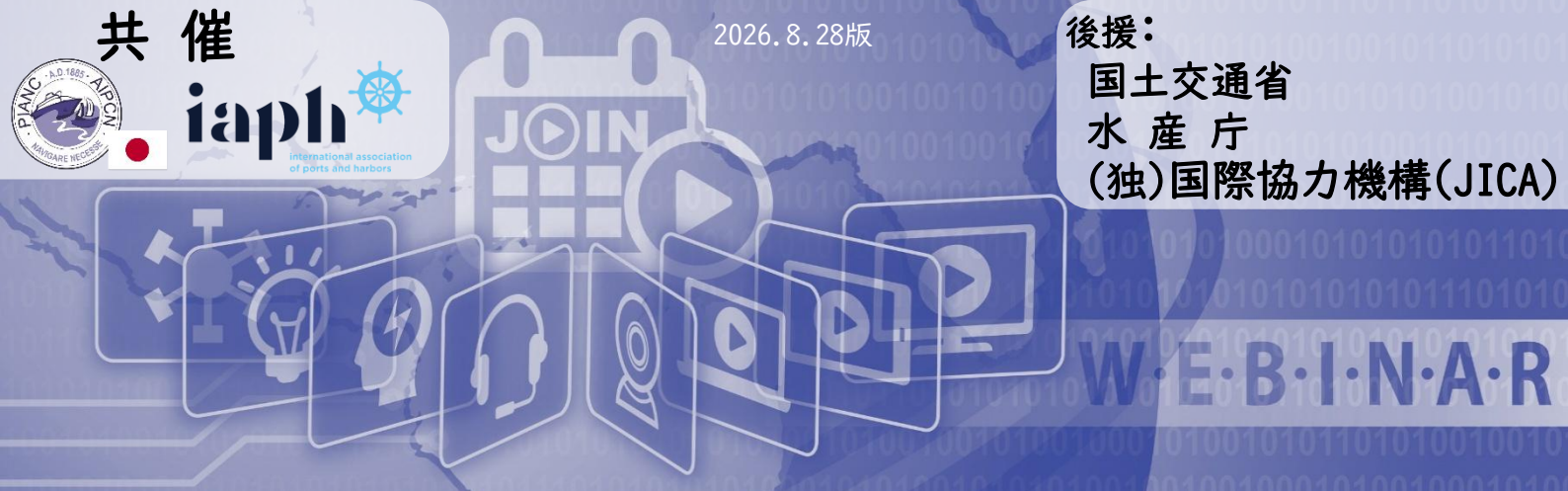
2026. 8. 28版

後援:

国土交通省

水 産 庁

(独)国際協力機構(JICA)



PIANC-IAPH アジアセミナー2026 - 港湾における脱炭素化 -

日時

2026年10月23日(金) 15:30 - 18:00 (日本時間)

参加費: 無料

定員: 200名

使用言語: 英語 (日英同時通訳あり)

ウェビナー方式: Zoom

参加申込URL: <https://forms.gle/gnNPBqjPqQcMtrEC7>

本年10月に「PIANC - IAPHアジアセミナー (第6回PIANCアジアセミナー)」を開催しますのでご案内いたします。研究者や技術者の経験, 知見及び最新技術を共有する場として成功を収めてきた過去5回のセミナー実績も踏まえ, 今年は姉妹協会であるIAPHとの共同開催とし, テーマを「港湾における脱炭素化」としました。インド, インドネシア, 日本の著名な講師陣をお迎えし, 「ネットゼロ (温室効果ガス排出実質ゼロ)」の実現に向けた様々な課題についてご講演いただきます。この喫緊かつ重要なテーマに関心をお持ちのすべての皆様のご参加を心よりお待ちしております。

プログラム (仮) 15:30 - 18:00 (日本時間) モデレーター: PIANC環境委員会 日本委員 中崎剛

15:30 **開会(主催者挨拶)**: PIANC副会長 栗山善昭
IAPH副会長 元野一生

15:35 **開会挨拶**: 国土交通省 大臣官房
技術参事官 森橋真

15:40 **PIANC本部からのビデオメッセージ**:
PIANC会長 フランシスコ・エステバン・レフラー

15:45 **講演1: カーボンニュートラル実現に向けた
港湾の気候変動対策**
神戸大学大学院海事科学研究科 杉村佳寿 氏

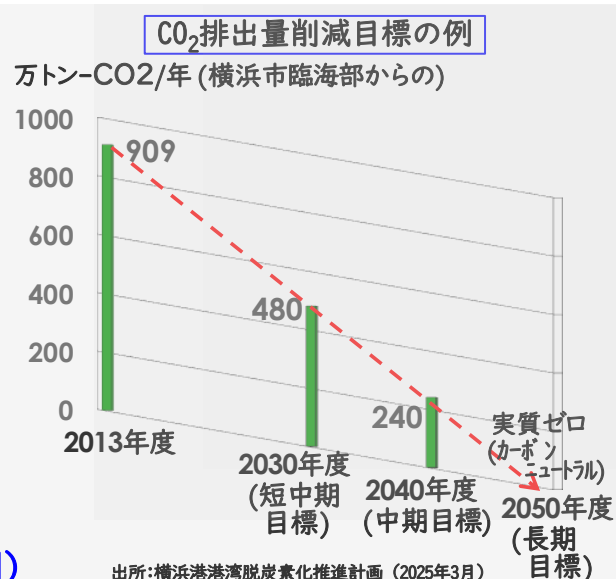
16:10 **講演2: グリーンな地平への舵取り: エネルギー
ハブとしての港湾の再定義 - DPA*の展望**
インド・ディーンダヤル港湾局(DPA)
ニラブハラ・ダスグプタ氏 *旧カンドラ港湾公社

16:35 **講演3: 港湾の脱炭素化に関する評価 - 脱炭素化
ギャップの克服 (インドネシア港湾の事例)**
(国営)インドネシア船級協会
ムハンマド・ライハン氏

17:00 **講演4: カーボンニュートラルのためのブルーカーボン生態系の活用**
港湾空港技術研究所(PARI) 渡辺謙太 氏

17:25 **質疑応答**

17:50 **閉会挨拶**: 水産庁 漁港漁場整備部 事業課長 中村克彦



参加申込URL: <https://forms.gle/gnNPBqjPqQcMtrEC7>

申込期限: 10月16日

QRコード(右)からも聴講申込可能



土木学会CPDプログラム
認定番号 JSCE26-1103
2.2単位

講師紹介 (講演順)



杉村 佳寿 氏 (日本)

神戸大学大学院海事科学研究科 教授
東京大学において工学博士号を取得

1999年に運輸省(現 国土交通省)入省, 主に中央省庁(港湾, 航空, 環境部局)の勤務を経て, 2024年4月から神戸大学に勤務。25年間にわたる幅広い分野の行政経験も活かし, グリーントランスフォーメーション(GX)やデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進などの現代の社会的ニーズも取り込みながら, 港湾, 空港, 国際物流, 及び環境政策を専門とする研究を進めている。

ニラブハラ・ダスグプタ 氏 (インド)

ディーンダヤル港湾局*(DPA)副会長 *旧カンドラ港湾公社

ニラブハラ・ダスグプタ氏は, 2025年7月に現職(DPA副会長)に就任。インド国税庁2008年入庁の幹部職員として, インフラ・ガバナンスや持続可能な開発における広範な専門知識をDPAに導入している。同氏のリーダーシップの下, DPAはインド最大の港湾としての地位を確立し, 脱炭素化の戦略にも合致するインド主要港における先駆的な取り組みを主導している。インド初のメガワット級の完全国産グリーン水素プラント建設や, 陸上から船舶へのメタノール燃料供給事業などである。同氏は, インドの港湾を世界で最も効率的かつデジタル化され, 環境面でも持続可能な水上交通のゲートウェイに位置づけることに尽力している



ムハンマド・ライハン 氏 (インドネシア)

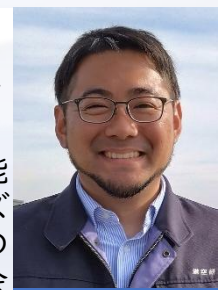
(国営)インドネシア船級協会 グリーン&スマートポート監査役

2023年にBKIに入社。グリーン&スマートポート監査役として, サステナビリティ(持続可能性)とデジタル化の基準に基づく港湾施設の統合評価において, 豊富な現場経験を有する。厳格な監査手法と, IoT, リアルタイムモニタリング, デジタルプラットフォーム等のスマート技術が水上交通のオペレーションにおいて環境面からのパフォーマンスをどのように向上させるかという実践的な理解を兼ね備えた「港湾の脱炭素化」の評価に取り組んでいる。

渡辺 謙太 氏 (日本)

(国研)海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 沿岸環境研究領域 上席研究官
京都大学において博士号(農業)を取得

2012年から港湾空港技術研究所(PARI)にて勤務。現在は, 植生のある沿岸生態系の能力(機能)の定量化や, これら機能の基盤となる生物地球化学的及び生態学的メカニズムに関する研究に取り組んでいる。「国連・海洋科学の10年」下の「ブルーカーボンのための世界海洋10年計画(GO-BC)」科学技術WGメンバーの他, PIANC環境委員会(EnviCom)WG 256「ブルーカーボンの理解醸成-実践ガイド」日本委員も務めている。



主催(共催)者代表



栗山 善昭
PIANC副会長(アジア, 大洋州担当)



元野 一生
IAPH副会長(南アジア, 西アジア, 東アジア及び中東担当)



中崎 剛
PIANC環境委員会
日本委員

モデレーター

問い合わせ先, CPD関連の連絡事項



・問い合わせ先:

PIANC Japan 担当: 米田・川田
TEL: 03-5226-0357

e-mail: yonededa@pianc-jp.org
mkawada@pianc-jp.org

・土木学会認定CPDプログラム受講証明
ご希望の皆さまへ

認定番号JSCE26-1103, 2.2単位

*証明書ご希望者には, 受講後メール連絡いたします。

*システム記録によるセミナー視聴状況の確認をします。

*受講後の所見(学びや気づき)の提出が必要です(100文字程度以上)。

*土木学会以外の団体への提出方法等は, 当該団体への事前確認をお願いします(他団体運営のCPD制度の内容については回答いたしかねます)。



QRコード(右)から聴講申込可能。
申込登録者には後日, ZOOMウェビナー
URLを送付します。